

2022-2023
音の風
年次報告書



～風にふかれて～



音の風とは？

What's OTONOKAZE?

「特定非営利活動法人音の風」は、

地域に暮らす人々とともに音楽を分かち合うものの育成と派遣を行い、

音楽を通して心の交流の機会を創出します。

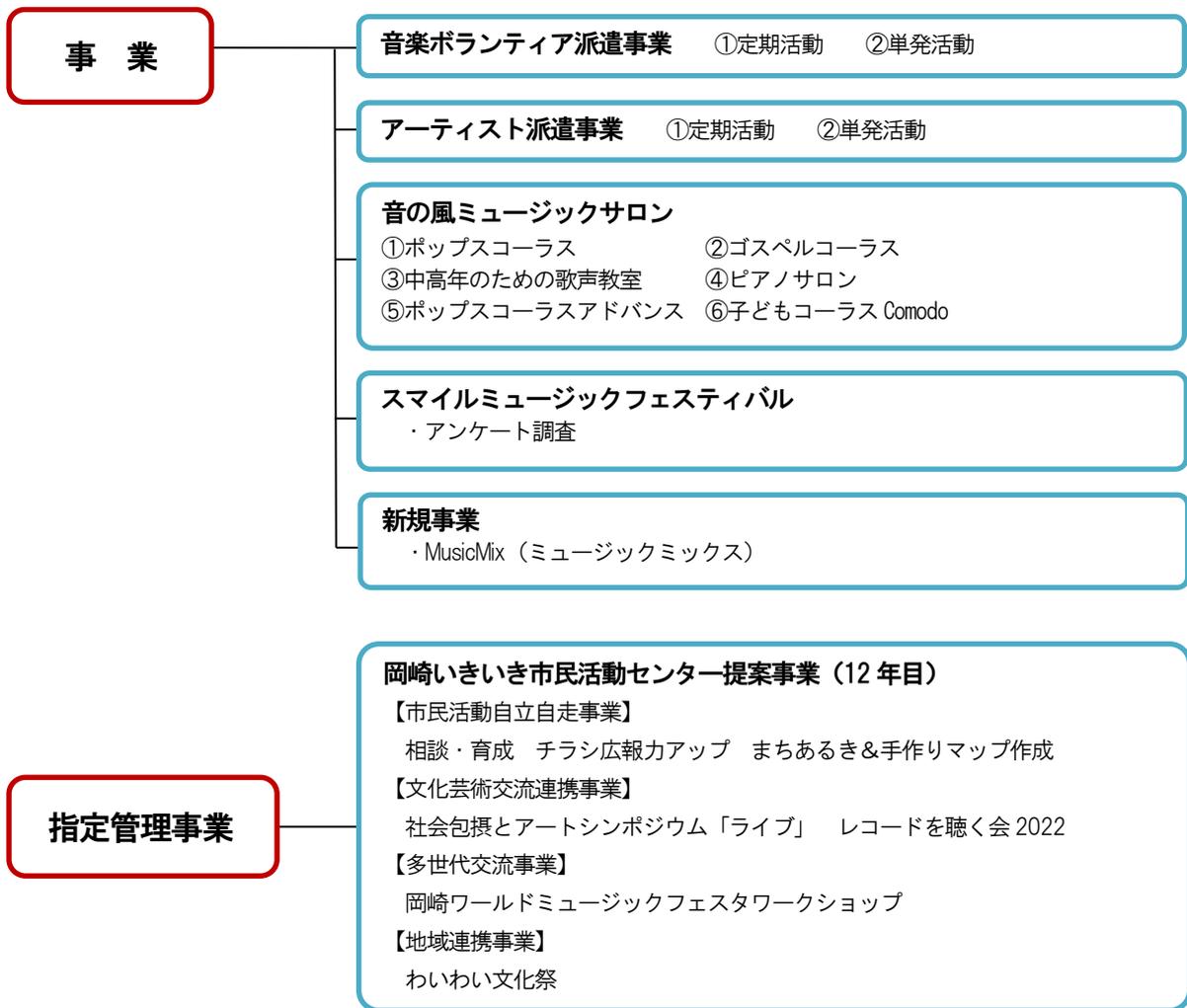
社会福祉へ貢献するとともに、音楽文化の向上につなげます。



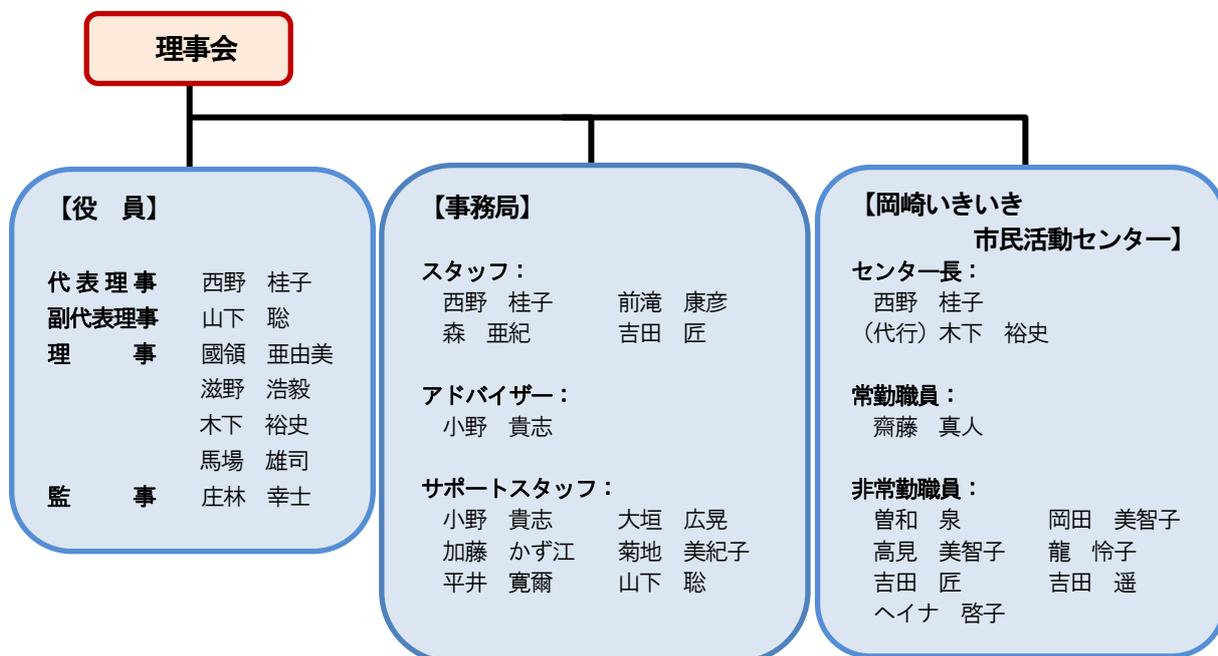
— 目 次 —

2022 年度事業及び組織体制	2
20 周年に寄せて	3
2022 年度のトピック	4
2022 年度事業報告	5
理事会・事務局	19
2022 年度のあゆみ	21
2023 年度 事業計画案	23
賛助会員・寄付者 / 関係先	26

2022 年度事業及び組織体制



事業実施体制



20周年に寄せて

代表理事・西野桂子

NPO 法人音の風は、NPO 法人格を取得して、20周年という記念すべき節目の年を迎えました。これも、会員の皆さま方の、音楽を通した社会貢献活動へのご理解とご協力の賜物と、心からお礼申し上げます。

振り返りますと、当時福祉施設における余暇活動の充実が課題として挙げられていた中で、発足当時から音楽家派遣の活動は注目を集めていました。設立直後、2003年8月の活動件数はデイサービスや特別養護老人ホームでの音楽レクリエーションやコンサートが6件でしたが、翌年には14件、そして設立2年後には25件と増加し、多くの問い合わせに対応が出来ずにお断りをするのを心苦しく思ったものでした。

予想をはるかに超えるニーズの多さに戸惑いながらも、ニーズに応えることが出来る体制づくりが急務と、事務局の機能強化を目的に、ひと・まち交流館2階にある市民活動総合センターの-smallオフィスに入居したという出発でありました。

音楽を通した人と人との交流によって、音楽家をはじめ多くの利用者の心をほぐし笑顔をもたらすことは言うまでもなく、現在では、福祉施設での音楽活動は広がりを見せ、音の風に限らず多くの音楽家が福祉の現場で活躍しています。

この20年の歴史の中では、さまざまなチャレンジもありました。福祉施設での活動に留まらず、スマイルミュージックフェスティバルの開催、ミュージックサロンの立ち上げ、そして、京都市岡崎いきいき市民活動センターの指定管理と、「音楽」を切り口に、その活動の幅を広げています。

2023年、20周年という記念すべき年を迎える上で、私たちは音楽活動の新たな向き合い方の模索をしなければなりません。2019年、新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の災禍の中、音楽活動の在り方が問われ

続けました。ようやく出口が見え始めてはいるものの、これからは新型コロナウイルス感染症との共存が始まります。

引き続き、音楽を通した人と人とのつながりを大切に、新たなステージに向けて音の風の役割を果たすべく取り組みを進めてまいります。今後とも、音の風に対する変わらぬご支援とご協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。



写真(上)：「ささえる」音の風を紹介

京都新聞 2003年7月掲載
(音の風設立2003年6月25日の翌月の新聞)

(下)：音の風の音楽ボランティア活動を紹介

京都新聞 2006年4月掲載

2022年度のトピック

明るい兆しが見えてきた1年



粟田学区社会福祉協議会
すこやか学級での活動

2022年度は、これまでのコロナ禍の行動制限も緩和され、お祭りや地域のイベント等、3年ぶりの再開が多く聞かれるような年でありました。音楽ボランティア派遣事業では、社会福祉協議会関連の依頼も出てきはじめ、アーティスト派遣は単発依頼が多数来るようになりました。ミュージックサロン事業では3年ぶりに有観客でのミュージックサロン・コンサートを開催しました。地域のイベントも復活し、ミュージックサロン各講座が出演することが出来ました。すべてがコロナ禍以前に戻ったと言うには及びませんが、明るい兆しが見えてきた1年であったと感じます。振り返れば、このコロナ禍で多くの変化がありました。新たな取り組みに挑み功を奏したところもありましたが、私たちの力の及ばぬところで残念な結果となった事柄もあります。そのような状況でも継続できたことは、昨年度の年次報告書で掲げた

「今こそ連帯」というキーワードであったと思います。一般的には平穏な状況に見えていても、コロナ禍以前の状況にまで戻らず困難を抱えている人たちが多くおられます。私たちはこのような社会状況に柔軟に対応し、継続して活動ができることを考えていくことが求められています。

アフターコロナへの期待と展望

コロナ禍の3年間は、私たちの活動は中止や制限を余儀なくされ、まさに耐え忍ぶ時期であったと思います。世の中の流れとしてこれからも制限は緩和されて行き、コロナ禍以前の様相に戻り、それに伴い私たちの活動も今後ますます需要が増えてくると予想されますが、私たちを取り巻く世界はコロナ禍以前とは変わってくるものと思われま。コロナ禍によって生活習慣が変わってきており、以前にもまして個人の健康や安全に配慮した活動が求められると考えられます。一方でICT化が急速なスピードで普及してきております。私たちも作業効率化の観点から積極的に取り入れることは勿論ですが、事業や活動に応用出来るよう昇華し、新たな活路を見出せるスキルも必要となると考えます。次年度で創立20周年を迎えるあたり、これからも新たな視点や活動方法を模索しながら、私たちのモットーである「笑顔つながる、音でつながる」を実践・実現することで社会貢献に繋げていきたいと考えております。



東山老人福祉センター
MusicMix オンライン体験会

音の風 **YouTube** チャンネル

チャンネル登録・「いいね」を引き続きよろしくお願いたします。

<https://www.youtube.com/channel/UC-83GvySi2ZNhg7TfZVTiHg>



正会員年会費 自動引落システム化

一昨年度に、ミュージックサロン会費及び一部の正会員年会費の自動引落システムを導入し、今年度から運用しており、これにより事務作業の効率化を図ることができました。これを受けて全ての正会員会費について自動引落システムを利用するようにいたしました。

2022 年度事業報告

事業報告 1-1, 1-2 音楽ボランティア派遣事業：定期，単発活動

すこしずつ歌える場所が戻ってくる
明るい兆しが見えてきました

音楽ボランティア派遣事業活動では、音楽による余暇活動の支援を行っています。

コロナ禍以前は1施設につき2~4名ほどのグループで訪問し、約45~60分のプログラムを進める活動をしていました。現在も介護施設などではボランティア派遣の受け入れが厳しい状況が続いており、単発・定期ともに活動依頼自体がありません。

一方で、以前定期活動を行っていた東山区内の健康すこやか学級のうち、栗田すこやか学級に関しては7月から月2回の定期活動が復活し、6名の会員で助け合いながら活動を行っています。

また、有済すこやか学級も、11月から試験的に単発で活動を行い、おかげさまで来年度から月1回の定期活動として復活することになりました。現在は、伴奏可能な2名がスケジュールを調整しながら、毎回単独で活動しています。

活動先（定期）	担当	回数
栗田学区健康すこやか	山下・畠・米谷 加藤・嶋野・上田	14
有済学区健康すこやか※	谷口・河野	3
合計		17

(※) 2022年度は単発として3回開催

Pick up!

栗田すこやか学級（定期活動）

コロナ禍になってから入会したこともあり、ボランティア派遣を経験する機会がなかったところ、昨年7月に栗田すこやか学級の歌の時間が再開されるとのことで、まずは見学に行くことにしました。これまで高齢者の方の歌の伴奏経験はなかったのですが、せっかくなので1曲だけ弾かせていただいたところ、普段の演奏活動とは違い、まるでダメでした。それでも、いきいきと歌っておられる参加者の姿を見て、「よし、次こそは！」という気持ちになり、活動に加わることになりました。

現在、月2回（第2、第4土曜日）13時30分~14時、6名の会員から1回あたり2~3名の担当を決めて伴奏を行っています。栗田では、音の風が発行している曲集（青い本）を準備いただいており、毎回その中から、季節にちなんだ曲や歌謡曲等を6~7曲事前を選び、ピアノや鍵盤ハーモニカの伴奏で歌っていただいています。

約30名の参加者の皆さんは歌うことに積極的で、リクエストをいただいたり、歌の解説をしていただいたりすることもあり、学ぶことも多いです。6名いるとは言え、個々の予定もあり、担当を組むのに余裕がある状況ではありませんので、興味のある方は、ぜひ事務局まで連絡してみてくださいね。活動に参加すればきっと元気ももらえますよ！（Report：山下 聡）



写真：2022年7月9日 栗田すこやか学級。
七夕にちなんだ曲などを楽しみました。

<2022年度 音楽ボランティア派遣事業総括>

活動件数：17件（前年度 1件）

定期活動：14件 収入46,200円 支出0円（2021年度0件 収入0円 支出0円）

単発活動：3件 収入9,900円 支出0円（2021年度1件 収入5,500円）

定期担当者：畠、谷口、米谷、山下、加藤、嶋野、上田、河野

コロナ前から行っていたすこやか学級定期活動先4件のうち2件が復活した。一般の介護施設関連は0件のまま、戻る様子は見られない。この先も各学区のすこやか学級などを中心に活動を増やしていくのがよいと思われる。

アーティストの生演奏に耳を傾け みんなと一緒に音楽を楽しみます

単発活動は、地域の高齢者サロンでの音楽活動、地域の恒例行事、季節ごとのイベントなど依頼は様々です。しかし、コロナ禍が始まって以降は各地域のイベント事業が中止になることが多く、活動の機会は激減しました。多くの人々が集うことや、特に声を出して歌うということが制限される厳しい状況の中で、アーティスト単独での器楽演奏など、鑑賞をメインとする活動を中心とすることで継続してきました。

ですが、2022 年度後半になってからは、コロナに関する制約も徐々に緩和されていくなか、各地域の音楽活動も活発になってきました。複数の施設から、クリスマス会や新年会など、前年度にはなかったイベントへの活動依頼もあり、中止や延期になることなく無事に開催できました。活動の際には、久しぶりに集うことや、音楽に触れることができたことを、皆さん大変喜ばれました。また利用者さん達だけでなく、活動にお伺いしたアーティストやご協力いただいたボランティア会員さん達も、久しぶりの音楽活動を楽しむことができました。



写真左：駒井裕子さん 写真右：野口義廣さん
稚松くつろぎひろばにて

Pick up!

稚松学区くつろぎひろば

4月8日（金）このご時世で、“みんなで歌わない、リズム遊びや身体を動かす音楽レクリエーション”という依頼があり、久しぶりの活動に行ってきました！

「手のひらを太陽に」で手の体操からスタート。「春の小川」では鈴やカスタネットを使って楽器の音を楽しんでいただきました。「炭坑節」では皆さんで盆踊りも楽しみました。

次は野口さんによるオカリナの鑑賞タイム。「さくらさくら」「荒城の月」など4曲を演奏していただきました。皆さんとてもリラックスされた雰囲気、和やかなひと時を過ごすことができました。

そして再び私の出番。鳴子や鈴、カスタネットなど好きな楽器を鳴らしていただきながら、「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」そして最後の曲「ふるさと」まで楽しんでいただきました。

今回は歌うことが出来ず残念でしたが、次の機会には皆さんでぜひ一緒に歌いましょう！と約束しました。早くそんな日が来てほしいです。（Report：駒井裕子）

活動先（単発）	回数
東山区 一橋学区	1
東山区 月輪学区すこやか学級	1
東山区 修徳学区健康すこやか学級	1
中京区 銅駝学区	2
中京区 朱雀第三学区	3
下京区 尚徳健康すこやか学級	1
下京区 稚松くつろぎひろば	1
たかのおもちゃライブラリー	1
LPW 音楽療法イベント	3
LPW バンド演奏指導・イベント	3
洛西ふれあいの里更生園	1
心のふれあいネットワーク	1
花パソ	3
市民活動センター運営委員	3
合計	25

<2022 年度 アーティスト派遣事業総括>

活動件数：235 件(前年度 192 件)

定期活動：7 ヶ所 210 件 収入 1,960,998 円 支出 1,229,950 円

(2021 年度 7 ヶ所 170 件 収入 1,665,272 円 支出 1,050,750 円)

単発活動：25 件 収入 228,700 円 支出 136,950 円 (2021 年度 22 件 収入 220,000 円 支出 157,149 円)

定期リーダー：今井、大槻、西野靖、八木、吉田

障がい者施設や高齢者施設の音楽療法、音楽レクリエーション、講師派遣、またイベントの演奏を行った。アーティストは規約に該当する者で、契約書を交わし登録を行っている。定期活動 40 件増 (2021 年度 170 件)、単発活動はほぼ変化なし (2021 年度 22 件) となっており、特に定期においては新型コロナウイルス感染症の影響が減ってきている。単発活動件数は前年度同様ではあったが、鑑賞・コンサート形式を中心に、ご依頼に応え活動できたことは幸いでした。

2022年度は、出演者の方々の現状についてアンケートを実施しました。
 コロナ禍になり、障がいのある方々の音楽活動や交流が一転してしまい、施設などは音楽活動への再開は未だのところも多く、アンケートは厳しい結果となりました。以前のように沢山の人数が集まったコンサートの開催は厳しい現状ですが、地域に飛び出せなどで、1チーム単体でも地域の行事などに参加できる日がくればと思います。



【スマイルミュージックフェスティバルに関するアンケート結果】

計6チーム中、5チームから回答をいただきました。(2023年1月27日時点)

1. オンライン交流会開催について 希望する：2 希望しない：2 無回答：1
2. 今後の開催方法について 従来通り開催希望：1 従来とは違う形で開催希望：1 無回答：3
3. 来年度以降の参加について 参加希望：2 参加検討中：3
4. その他のご意見等
 - ・現在のコロナ禍で音楽活動は出来ていない。また、今後の音楽活動の方針もたっていない。
 - ・月1回、2カ月に1回とかでもいいので、みんなで集まって音の風のメンバーと一緒に練習したい。忙しいメンバーの皆さんに無理をお願いしているかもしれませんが、よろしく願い致します。
 - ・施設の現状として、職員主体で今まで通りのパフォーマンスを目指すのは難しいです。参加に関しては検討していくものの、難しいと思います。
 - ・コロナ禍で、各家庭から zoom で企画に参加などをするだけでも癒された。



～スマイルミュージックフェスティバルとは～
 同じ地域に暮らすハンディキャップのある人とともに、出演者も観客もスタッフ みんなで一緒につくる、笑顔いっぱい音楽の祭典。
 これまでの活動は、音の風ホームページをご覧ください。
<https://www.otonokaze.org/jgyou4/>

【これまでのスマイルミュージックフェスティバルの活動】

- 2006年(平成18年)第1回スマイルミュージックフェスティバル開催。
 スペシャルオリンピックの音楽版を開催したいとの思いで開始。実行委員会の発足。
- 2007年 東山社会福祉協議会での交流会が行われる。
- 2008～2018年 第2回～第12回スマイルミュージックフェスティバル開催。継続開催となる。
- 2009年 福祉教育の開始。
- 2015年 出演者も実行委員会に参加。
- 2019年 第13回スマイルミュージックフェスティバルはコロナのため直前になり中止の決定。
- 2020年 映像作品「生きて生きていきたい」の製作(音の風YouTubeで公開中)。
- 2021年 オンライン交流会の実施。
- 2022年 アンケートの実施。

【スマイルミュージックフェスティバル出演団体】

かしの木学園/大照学園/友克&ヤス with powerful family's/なづな学園/ふらっととすぺえす/ほっとヴォイス/メレマカニ 他

【スマイルミュージックフェスティバル実行委員会】

特定非営利活動法人音の風/社会福祉法人京都市東山区社会福祉協議会/
 京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」/京都市東山青少年活動センター

【協力】東山区役所

【物品協賛】株式会社カスタネット/株式会社一澤信三郎帆布



スマイルミュージックフェスティバル
 映像作品 (令和2年度)

ミュージックサロン、イベント出演再開の年！

2021 年後半より徐々に活動ができる状況になってきており、2022 年度はコロナ禍前の状況にまで戻ってきて、多くの出演する機会に恵まれました。5 月には、ポップスコラスが「法然院悲願会」、子どもコーラス Comodo とポップスコラスアドバンスは「くまのまつり」の出演、10 月にはコーラスの 4 チームが「ロームスクエア・ライブ」に出演、12 月は「みゆーふえす会員交流演奏会」、そして 3 年ぶりに再開の「岡崎わいわい文化祭」には 3 チームが出演しました。

今年度は各講座の会員も増えてきており、コロナ禍前の在籍数を超える講座もできました。大きな問題もなく 1 年間運営出来ましたことを、関係各位の皆様にご心より感謝いたします。来年度も更なる発展に向けて尽力していきます。



3 年ぶりに開催された岡崎わいわい文化祭

ミュージックサロン・コンサート～3 年ぶりの有観客コンサートを開催！

ミュージックサロン・コンサートは 3 年ぶりに有観客コンサートとして開催しました。例年、岡崎いきいき市民活動センター事業と合同で開催していましたが、今年はミュージックサロンだけの開催となり、スタッフの確保や予算等、厳しい状況でありましたが、学生インターン、学生ボランティア、一般ボランティアの方々に助けをいただきながら、無事開催することが出来ました。今回は、コーラスチーム、ピアノサロンの他、歌声教室もゲスト出演しました。また新事業の MusicMix も参加し長時間のコンサートの緊張を和らげてくれました。出演者の方々はもちろん、来場者の方も、スタッフも、久しぶりの有観客でのコンサートで感動を味わうことが出来たと思います。



3 年ぶりの有観客コンサートの記録として、コンサート完全収録版の動画を音の風 YouTube チャンネルで公開いたしました。

開催日時：2022 年 9 月 10 日(土) 13 時 00 分～16 時 00 分

場所：ロームシアター京都ノースホール

出演：ポップスコラス「岡崎リトルポップスターズ」、
子どもコーラス Comodo、ピアノサロン、MusicMix、歌声教室、
ポップスコラスアドバンス「カナリアンヴォイセズ」
ゴスペルコーラス「シャイニングスターズ」

講師：濱田のぶよ、あかしなおこ、宮原春彦、前滝康彦、
吉田貴美子、岡田美智子、吉岡直子

伴奏者：大谷朝子、加藤かず江

動画撮影・編集：津村哲生、前滝康彦

写真撮影：阪口明弘

スタッフ：山下聡、國領亜由美、森亜紀、吉田匠、前滝康彦、
内藤伶央、東菜子、藤本理紗子（学生ボランティア）、
小林綾美、河原のどか、寺脇拓郎（学生インターンシップ）、
山田基、川崎考治（一般ボランティア）

出演者数：49 名 来場者数：172 名



音の風 **YouTube** チャンネル

チャンネル登録・「いいね」を引き続きよろしく願いたします。

<https://www.youtube.com/channel/UC-83GvySi2ZNhg7TfZVTiHg>



<2022 年度 ミュージックサロン事業総括>

事業収入： 3,060,500 円 (前年度 2,507,450 円 前年度比 +22%)

事業支出： 2,865,619 円

結成 9 年！岡崎の明るいポップスコーラスグループ

今年度は、5 月に「法然院悲願会」、9 月に「ミュージックサロン・コンサート」、10 月は「ロームスクエア・ライブ」、12 月の「みゆーふえす・会員交流演奏会」、1 月には 3 年ぶりの「岡崎わいわい文化祭」に出演と、たくさんの出演する機会に恵まれ、ようやく本来の岡崎リトルポップスターズの姿に戻ってきました。

新しいメンバーも加わり、これからの活動に期待が持てます。次年度でいよいよ結成満 10 年を迎えることで、これからも地域で愛されるコーラスグループとして、活動を続けていきます。



ミュージックサロン・コンサート

【2022 年度事業概要】

開催期間：2022 年 4 月～2023 年 3 月

講師：あかしなおこ

事業収入： 433,290 円 事業支出： 396,136 円

在籍数：13 名、入会者数：3 名、退会者数：1 名（前年度末在籍数 11 名）

練習日時：第 2、4 金曜日 18:30～20:00 場所：岡崎いきいき市民活動センター

【岡崎リトルポップスターズ】

- 「この 1 年はメンバーの復帰や新加入が相次いだね」
- 「コロナ禍で一時は数人まで減って、どうなることかと思ったけど」
- 「不死鳥のように復活や。ひばりもびっくり！」
- 「ネタが古すぎるねん。ほんまに♪ため息の出るような♪歌謡オタクやな」
- 「洋楽もがんばったで。“On the Sunny Side…” は年間最多歌唱賞や」
- 「“上を向いて歩こう” では初めてアカペラに挑戦！ジブリメドレーも斬新やった」
- 「あかし先生、いつも楽しいご指導と素敵なアレンジをありがとうございます」
- 「メンバーさんのご自宅のお寺で練習させてもらったのも、エエ思い出や」
- 「新年度はどうなるやろ。前のように保育所のクリパで子供らと歌いたいなあ」
- 「コロナ状況も変わってきてるし、休会中の人にぜひ戻ってきてほしい」
- 「新しい歌にも、どんどんチャレンジしていきたいね」
- 「これからも元気で楽しい OLPS やで〜」（脳内座談会：ねぶくろ）



**Okazaki Little
Pop Stars**



左上：法然院悲願会・集合写真

中央上：ロームスクエア・ライブ

右上：ミュージックサロン・コンサート

左下：みゆーふえす会員交流演奏会

中央下：岡崎わいわい文化祭・楽屋で

右下：リハーサル中

「World In Union」ゴスペルコーラスの元、一致団結！

今年度は、9月の「ミュージックサロン・コンサート」、10月の「ロームスクエア・ライブ」、12月の「みゆーふえす・会員交流演奏会」と、披露する機会に恵まれ、そして更に5名の方が入会され、大躍進の年となりました。「ミュージックサロン・コンサート」で披露した「World In Union」のように、シャイニングスターズの一一致団結により導かれた結果となりました。

これからも結束力を維持し、ゴスペルコーラスを通じて音楽を始めるきっかけとなるよう、広報を強化し、来年度も更なる飛躍の1年となるよう、活動を続けていきます。



ミュージックサロン・コンサート

【2022年度事業概要】

開催期間：2022年4月～2023年3月

講師：濱田のぶよ

事業収入：670,010円 事業支出：516,035円

在籍数：18名、入会者数：5名、退会者数：1名（前年度末在籍数14名）

練習日時：第1、3土曜日 11:00～12:30 場所：見性寺地蔵ホール

【シャイニングスターズ】

シャイニングスターズに参加する前のゴスペルのイメージは、黒人が合唱で歌うアメリカの教会音楽でした。それほど身近な音楽ではありませんでしたし、しかもコーラス初心者でした。1年間やってみたゴスペル曲には、まるでソウルミュージックのように、エネルギーに叫ぶように歌い、手拍子・足拍子し、体全体を揺らしながら歌う曲もありました。

最初に覚えた曲にはラグビーワールドカップの応援歌「World in union」でした。アカペラによるコーラスは、その響きや力強いメッセージによって、歌っていて感動を覚えることすらあります。これこそがゴスペルの醍醐味であると感じています。

シャイニングスターズでは、基礎的な発声練習や英語のフレーズの発音練習に加え、個人の声を合わせて1つの音楽表現を作り上げるというチームワークを大事にしています。

濱田先生、コーラス仲間とゴスペルクワイヤを楽しみながら極めていくことはとても充実感があります。少しでも興味がわいた方はぜひ練習を覗きにきてください。（Report：Mic）

SHINING★STARS



左上：みゆーふえす会員交流演奏会



中央上下：ロームスクエア・ライブ



右上下：ミュージックサロン・コンサート



左下：練習中のスナップショット



事業報告 4-3

ミュージックサロン事業：歌声教室

歌は健康の源。歌声教室で健康長寿！

今年度は行動規制による休講は無く、予定通り開催することが出来ました。参加人数は延べ 352 名となり、昨年度の延べ 196 名からはかなり増えてはいるものの、コロナ禍前の参加人数には戻ってはいない状況です。しかしながら、コロナ禍の影響が残る中でも入会者数が 8 名あったことから、「歌う」という事は、ご高齢者のニーズが高いことを改めて実感しました。

ご高齢の方も外出がしやすくなることから、次年度は参加増を期待しながらも、広報に尽力し、高齢者の健康維持・居場所づくり貢献していきたいと思えます。



ミュージックサロン・コンサート

【2022 年度事業概要】

開催期間：2022 年 4 月～2023 年 3 月

講師：宮原晴彦 受付スタッフ：小野貴志、大垣広晃、加藤かず江、前滝康彦

事業収入：189,200 円 事業支出：270,664 円

在籍数：41 名、入会者数：8 名(復帰の方含め)、退会者数：0 名 (前年度末在籍者数 33 名)

参加人数：延べ 352 名 (前年度 延べ 196 名)

練習日時：第 2 金曜、第 4 金曜 13:30～15:00 第 3 水曜 10:30～12:00

開催場所：岡崎いきいき市民活動センター

事業報告 4-4

ミュージックサロン事業：ピアノサロン

コミュニティとしてのピアノサロン

ピアノサロンはその名の通り、ピアノ演奏を習得することだけでなく、ピアノを通じてのコミュニティとして、敷居は低く、誰でもピアノ演奏を楽しむことができる「広間」の雰囲気を作ることを心掛けております。今年度はミュージックサロン・コンサートの他、夏のプチ発表会、クリスマスプチ発表会をコロナ禍前のように開催することが出来ました。

ピアノサロンが再開してから 6 年半経ちますが、長く在籍されている方も多く、会員の方の交流もあり、最近では会員の方同士で連弾されるなど、サロンとしての役割果たすことが出来ています。

これからも気軽にピアノ楽しんでもらえる場として、ピアノサロンの活動を広げていきたいと思えます。



ミュージックサロン・コンサート

【2022 年度事業概要】

開催期間：2022 年 4 月～2023 年 3 月

講師：前滝康彦

事業収入：473,220 円 事業支出：439,243 円

在籍数：9 名、入会者数：1 名、退会者数：0 名 (前年度末在籍数 8 名)

練習日時：隔週水曜日 13:00～16:00 場所：岡崎いきいき市民活動センター



クリスマスプチ発表
連弾を披露

ハーモニーで感動を与えていこう！

「Canalian Voices (キャナリアンヴォイセズ)」はメンバー10人となり、更にコーラスハーモニーがグレードアップ！

今年度は活動する機会が増えて、これから益々発展していく基盤ができてきたようです。コロナ禍での1年間の地道な練習が、今年度に実を結んだと思います。ミュージックサロン・コンサートの他、5月に「くまのまつり」、10月は「ロームスクエア・ライブ」(初出演)、12月に「みゆーふえす会員交流演奏会」、そして1月に「岡崎わいわい文化祭」(初出演)と、いとまなく活動しましたが、メンバーの皆さん嬉々とした表情でパフォーマンスを披露され、充実した一年間の活動となったと思います。

次年度も引き続き、美しいハーモニーを多くの方にお届けできるよう、日々の練習と内容のグレードアップをしていきたいと思ひます。



ミュージックサロン・コンサート

【2022年度事業概要】

開催期間：2022年4月～2023年3月

講師：あかしなおこ

事業収入：509,960円 事業支出：413,013円

在籍数：10名、入会者数：1名、退会者数：1名(前年度末在籍数10名)

練習日時：第1、3水曜日 19:00～20:30 場所：岡崎いきいき市民活動センター



【ポップスコラスアドバンス】

2022年1月よりキャナリアンヴォイセズでお世話になっております。昨年度まではコロナ禍で練習・本番ともに大変な思いをされたメンバーの方々からお聞きしていましたが、2022年度は、マスクはありながらも毎回みんなで楽しく練習し、たくさんの舞台に立つことができました。

暑い中での熊野寮祭、ロームシアター広場での秋の発表、みゆーふえす会員交流演奏会…どれも本当に楽しかったですが、なんといっても、9月のミュージックサロン・コンサートはとても印象深いです。生まれて初めて5曲もの歌を覚えて歌うということで、直前まで不安が大きかったのですが、本番はメンバーの皆さんの歌声に囲まれ、支えられ、そのハーモニーを感じながらびっくりするくらい、のびのびと歌うことができました。

自由に声を出すことが制限されるという、合唱にとって大きな困難を乗り越えて、優しく迎え入れてくださったキャナリアンヴォイセズの皆様、あかし先生、音の風スタッフの方々から感謝しています。優しく楽しいメンバーの皆様と、2023年度も色々な曲に挑戦したいです♪ (Report：権絵理加)



左下：ミュージックサロン・コンサート



中央上：くまのまつり

中央下：岡崎わいわい文化祭



右上：ロームスクエア・ライブ

右下：みゆーふえす会員交流演奏

子どもたちの成長の場を目指して！

コロナ禍の長く辛い時期を経て、今年度の「子どもコーラス Comodo」は、大躍進の年となりました。「くまのまつり」、「ミュージックサロン・コンサート」、「ロームスクエア・ライブ」、「みゆーふえす会員交流演奏会」、そして「岡崎わいわい文化祭」と、年間の活動数が過去最多となり、出演する都度新しいメンバーも増え、今年度末にはメンバー10名となりました。

子どもたちの自由な発想を大事に、レパートリーも昭和歌謡から最近のヒット曲まで幅広く、ダンスや振り付け演出まで、メンバーみんなで作り上げていきます。

「子どもコーラス Comodo」は、単に「音楽を学ぶ」というところから、音楽を通してどのように自己表現をするのかを考え、メンバーで問題に取り組み、工夫することを学び、子ども達の成長の場となることを目指しています。身近に音楽に接することが出来る「子どもコーラス Comodo」を、更に育てていきたいと思えます。



ミュージックサロン・コンサート



【2022 年度事業概要】

開催期間：2022 年 4 月～2023 年 3 月

講師：あかしなおこ

事業収入：456,470 円 事業支出：403,492 円

在籍数：10 名、入会者数：5 名、退会者数：0 名（前年度末在数：5 名）

練習日時：第 1、3、4 土曜日 10:30～12:00 場所：岡崎いきいき市民活動センター

【子どもコーラス Comodo】

小さい頃から歌が大好きな娘。お友達に誘ってもらって初めて Comodo を観た帰り道に、楽しそうだから自分も始めたいと、体験を経てすぐに入会させていただく事になりました。そこからステージ発表を続けて経験させていただき、最初の頃こそ緊張して顔が強張っていましたが、徐々に表情が和らぎ、今では楽器やダンスをしながら笑顔で歌えるようになってきました。

これまで習い事という、上手くできるように教えてもらうというイメージでしたが、Comodo では、みんなで考えて、意見を出し合い、歌を作り上げるという過程を大切にしてくださっています。人前ではあまり意見を言わなかった娘が、自分の意見や気持ちをみんなの前で言えるようになったと先生から教えていただき、日々、成長を実感しております。

親としては、子ども達のきれいなハーモニーについつい涙腺が緩くなってしまうのですが、何よりも、毎回 Comodo を楽しみにし、キラキラ笑顔でステージに立つ娘の姿を見ると、入会して良かったなと本当に心から思います。

これからも、Comodo での活動の中でいろいろな事を経験し、みんなの力を借りながら、笑顔で成長していってくれることを楽しみにしています。(Report：諸原亜美(メンバー保護者))



左上：ミュージックサロン・コンサート

左下：練習中のスナップショット



中央上：ロームスクエア・ライブ

中央下：くまのまつり



右上：みゆーふえす会員交流演奏会

右下：岡崎わいわい文化祭

出演：10/1(土)：音の風：シャイニングスターズ、錦林児童館ダンス・竹馬クラブ、京都文教中学高等学校ダンス部、音の風：子どもコーラス Comodo



10/1 子どもコーラス Comodo

10/10(月・祝)：東山中学・高等学校吹奏楽部、うたう会“絆”、京都市立白河総合支援学校音楽部、歌って健康コーラス、ホシノカケラ

■10/2：ロームスクエア、パークステージへの外部DJ出演「お出かけレコードを聴く会」

レコードを聴く会サークルメンバー5名を、ロームシアター京都主催のOkazaki Park StageのDJコーナーにコーディネートしました。



10/2 お出かけレコードを聴く会 DJと盛り上げる企画者

■12/08(木)：錦林児童館 まめっこサロン12月クリスマス会、出演：錦林アカペラサークル

■12/10、12/17：kokoka 国際交流会館2階 kokoplaza 世界のクリスマス絵本展の中で「クリスマスミニコンサートと絵本読み聞かせ」の出演者をコーディネート

出演：12/10(土)前滝康彦(ジャズ)、12/17(土)京都リコーダーコンサート(バロックアンサンブル)

■2/25：子育て広場 どんぐり広場 お楽しみ会
出演：kyopella(キョーペラ)利用者アカペラグループ

■新規レコードを聴く会企画者育成 映画観賞会

11/5：当センター和室レコードを聴く会に来場者として来られていた方が、レコードを聴く会サークルに興味を持ち、映画音楽の企画を高齢者団体にコーディネートしました。映画音楽を聴く会は成功裏に終わり、さらに、機材面にも詳しいことより、レコードを聴く会サークルにも積極的に参加、協力されています。

■市民活動総合センターの依頼から、手話マーケット企画者サポート 3/4：ゼスト御池

■左京区地域力推進室からの紹介で、左京でのまちづくり活動者への活動サポート

1.市民活動自立自走事業 (2) チラシ・広報力アップ

センター利用のサークル、レコードを聴く会企画者を対象に、メンバー募集のチラシやイベントチラシの広報力アップを狙い、受講者にはアドバイスをもとに作成したチラシを100枚プレゼントしました。

●事業費：56,980円

<ワード編> 令和4年7月8日(金) 参加人数2名

<手作り編> 令和4年7月21日(木) 参加人数4名

1.市民活動自立自走事業 (3) まちあるき、手作りマップ作製

まちの魅力を伝える手作りマップ作製のために、今年は取材講座と撮影講座を開催しました。左京区のまちづくりアドバイザーの吉田泰基さんからレクチャーを受け、左京区役所まちづくり推進室と連携し、左京区でマップ作りをしたい団体をサポートし取材講座や撮影講座も受講をすすめ案内しました。

●事業費：453,641円

<取材講座>

日時：令和4年10月23日(日) 参加人数：11名



取材講座 講師石崎さん。写真とともに文章を発表

京都新聞記者の石崎立矢さんを講師に迎え、講義を聞いたあと、岡崎周辺に各自が取材に出かけました。写真を撮り SNS を意識した短文の文章を添えて発表しました。

石崎さんは、「ちず部」という活動をされており、ご自身の体験を交えてまちあるき、地図を使ったワークショップについても効果を話されていました。

<撮影講座>

日時：令和4年11月3日(木・祝) 参加人数：10名
物を撮影する、人を撮影するをテーマに SNS にアップするときや取材の際に必要な写真の撮り方、そしてマネーや取材のアポイントのコツについて学びました。講師は(一社)ヴァリアスコネクションズ代表の成実憲一さん。お店の雰囲気や人物を撮るため、センター近くのあいおい食堂と、ギャラリー袖に協力を頼みモデルとして仕事風景を撮影し発表しました。

2.文化芸術連携交流事業

(1) 社会包摂とアートシンポジウム ライブ

聴覚に障がいのあるロックバンド「Bright Eyes super-duper」を招き、ロームスクエアで開催されたイベント Okazaki Park Stage のオープニングで演奏。演奏終了後「音楽と障がいについて」座談会を開催しました。演奏は編集後、YouTube に公開し、インタビューをまとめてセンターHP で公開しています。



Bright Eyes super-duper ライブ @ローム・スクエア

●事業費：940,190円 来場者：約50名
日時：令和4年10月1日(土) ライブ&インタビュー
令和4年11月16日(水)YouTube 公開、11月17日(木)HP
インタビュー公開

2.文化芸術連携交流事業

(2) レコードを聴く会 2022

●事業費：176,030円
参加者：延べ225名(毎回13~28名)
毎月、第4土曜日を基本として、市民企画によるレコードを聴く会を開催。年に2回は、小説家いしいしんじさん

と、同志社大学教授の新川先生によるゲスト企画です。市民企画者のみなさんでレコードを聴く会サークルとして、年に1回全員参加の企画で交流しています。

3. 多世代交流事業：岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ

●事業費：736,885円 スタンプラリー参加者 約120名
①岡崎ワールドミュージックフェスタにおけるワークショップ世界の楽器スタンプラリー：10/16(日)：ロームシアター京都中庭(ロームスクエア)



ワールドミュージックフェスタ 多くの観客でにぎわうイベントの中でセンターは、大学生のWSのコーディネーターとスタンプラリーをしました。出演者にも協力してもらい、大学生のWSに絡んでもらうようにフェスの一体感を目指しました。

②ワールドミュージックを聴く会 岡崎いきいき市民活動センター7/30(土)

フェスの前にワールドミュージックを知るための、専門家による講義と実演のレクチャー。

4.地域連携事業：わいわい文化祭

令和5年1月28日(土) kokoka 京都市国際交流会館

●事業費：377,320円 出演・入場関係者：約600名
3年ぶりに開催の地域文化祭。出演や観客だけでなく、企画、運営、裏方スタッフからすべて地域の方々が行います。出演者会議やスタッフ会議など事前に行い、途絶えていた交流も久しぶりに復活しました。さらにより多くの地域の方と交流できるように、地域の魅力を伝える写真展や、子どもから地域に滞在している海外アーティストまで幅広い絵画や書の作品をハワイエに展示しました。



岡崎リトルポップスターズと Canalian Voices

事業報告 6 MusicMix ミュージックミックス 新しい介護予防プログラム

楽器の演奏×ダンス×体操で楽しく！イキイキとした毎日に！

MusicMix は今年度の4月より2回、対面での定期講座を開催しました。定期講座では月ごとに体操の内容を変更するなどの工夫を凝らし、ご参加いただく方がとにかく楽しく体操できることを1番にプログラム作成を行ってまいりました。

今年度は24回開催の内、参加者は延べ73名という結果になり、苦しい状況ではありますが、より多くの方々に MusicMix を体験いただき、これからも高齢者の健康維持・居場所づくり貢献していきたいと思っております。



オンラインサービス開始

定期活動では、比較的健康な高齢者の方にご来場いただいておりますが、高齢者向けの施設を利用されている高齢者の方にとっては、外出や外部との直接的な接触が困難な場合があります。そのような高齢者の方にも気軽に参加できる方法として、今年度からは新たな取り組みとしてコロナ禍で進めてきたICTを活用した、オンラインサービスを開始いたしました。オンラインサービスでは「MusicMixをいつでも・どこからでも」をテーマに、コンテンツ配信サービス、リモート配信サービスをリリースしました。

- ① コンテンツ配信サービスでは、レポーター毎のコンテンツがあり、運動目的に応じて自由に選択頂き、繰り返しご覧いただくことが出来、月額定額料金制で契約期間中であれば、時間帯や場所を問わず何度でも視聴できます。
- ② リモート配信サービスでは、ご利用者と講師をオンラインで繋ぎ、非対面でご利用頂き、リアルタイムの実況配信や、要望に合わせたプログラムを配信することも可能です。また、アーカイブ配信として期間限定内で何度でも視聴いただけます。

これらのコンテンツPRの一環として、1月より無料体験会を全6回、東山老人福祉センターでも体験会を開催いたしました。また東山区の宝箱プロジェクトでは記事掲載、サブスク無料配信を行うなどの広報活動も行いました。

無料体験会には4件の申込があり、こちらも目指していた目標としていた数よりは下回りましたが、MusicMix が多くの方々に届くために今後も広報活動を続けて参ります。

【2022年度事業概要】

講師：吉田貴美子（音楽ケア体操指導員）、岡田美智子（介護施設リハビリスタッフ）、吉岡直子（ボランティアスタッフ）

事業収入：288,250円 事業支出：374,102円

○定期活動 全24回

第2月曜日 13:30～14:30 岡崎いきいき市民活動センター

第3月曜日 13:30～14:30 東山いきいき市民活動センター

○依頼活動 5件

貞教学区社会福祉協議会、一橋学区社会福祉協議会、東山老人福祉センター、ケアセンター「いまくまの」他

○オンライン無料体験会 全6回（2023年1月～3月）

【助成金】

京都府地域交響プロジェクト交付金、東山区まちづくり支援事業助成金



【Music Mix】

MusicMix 1周年ありがとうございます！

「(ビートルズの曲に合わせて) この肩の動きは着替えのときに重要ですよ～！湯船をまたぐイメージで！次はシェイカーでリズム！シャカ♪シャカ♪」こんな声かけとともに講師も一緒に楽しんで参加しています。プログラム作りでは、日常生活動作や季節行事、スポーツ、体操、ステップなど、曲ごとにテーマを設定し、目的と動きをイメージしやすいように心がけています。フレームドラムを使ったリズム×体操もお勧めで、楽器演奏と体操を切り替えることや、動きやリズムを真似することで脳の活性化にも繋がりますよ。来月はマイケルジャクソンの曲に挑戦予定です！

(Report : 岡田美智子 (講師))

理事会・事務局

理事会の開催

2022年度は理事会（オンライン）と臨時理事会（対面）を、計4回開催しました。
第1回：5月27日（金） 第2回：11月14日（月） 第3回：2023年3月27日（月）
臨時：8月20日（土）

会報

毎月1回情報発信や連絡共有として「会報」と「活動日のお知らせ」を発行しております。

会報作成には、活動報告や活動紹介など、正会員の皆さまにもご寄稿いただいて発行しております。また、校正チェック要員としても会員の皆さまにご活躍いただいています。ほとんどの会員さまにメーリングリストによる受信方式に対応していただいております。また、HPの会員専用ページから、過去の会報を全て閲覧できるようになっています。

2022年度は12回発行しました。（校正・寄稿協力：平井・菊地・庄林・前滝・西野）

事務局

前年度は音の風正会員かつミュージックサロン会員に対応した会費納入の新システム導入を行いました。今年度は、残る全ての正会員を対象に新システムを適用すべく、その準備・導入作業に時間を費やし、無事に稼働することができました。業務改善をすすめるために、引き続き業務体制の見直しを行ってまいります。

会員数については、前年度100名より退会9名、入会17名により、総会員数は108名となっており、全体として8名増となっています（2023年3月31日付）。資料請求等の問い合わせは2件のみで、うち1名にご入会いただきました。今年度の入会者の大半はミュージックサロン受講者であるため、引き続き広報活動や情報発信に力を入れていく必要があります。

～楽譜販売～

2014年度に音楽ボランティア活動のための曲集（高齢者編）の改訂版を出版しました。音の風会員には、会員価格での販売も行っています。今年度は、歌声教室の5名、音楽ボランティア派遣者の3名、ほか1名より計9冊の購入がありました。

～学生インターンシップ～

NPO法人ドットジェイピーが主催する、「NPO インターンシッププログラム」（大学生が長期休暇の2ヶ月間、提携団体に派遣し行動を共にする事で、仕事に対する姿勢や思い、社会とつながりを知る体験学習プログラム）に参画し、本年度は夏季3名、冬季1名、合計4名の方を受け入れ、ミュージックサロン・コンサートのスタッフと、ミュージックサロンの広報活動に携わっていただきました。

私は2021年春のドットジェイピーのソーシャルインターンシップで音の風さんに受け入れていただいていたから、今年度はスタッフとして関わらせていただいています。音の風はミュージックサロン以外にも、介護予防プログラムのように地域の方に寄り添い、様々な活動をされていて、音楽は無数の可能性を秘めているなと感じています。このご縁を大切に、またイベントのお手伝いをさせていただきたいと思っています！今後ともよろしくお祈りします！（サポートスタッフ：藤本理紗子さん）



主にミュージックサロン・コンサートに向けた準備をさせていただきました。慣れない配布資料作成に苦戦しましたが、音の風の職員さんは優しい方ばかりで親切に接していただきました。コンサート当日は3年ぶりの有観客ということで、会場にいる方々と空間を共有できたことに感動を覚えました。この経験を活かして大学生活をステップアップしていきたいです。（河原のどかさん）



ミュージックサロン・コンサートに向けて準備する中で沢山の経験と学びがありました。また、音楽を通して皆さんが生き生きと楽しく活動している姿を見て、自分ももっと頑張ろう！と思いました！短い期間でしたが、貴重な経験をさせて頂きありがとうございます！（小林綾美さん）

音の風さんでの活動を通して音楽が持つ力を体感し、またさまざまな側面で社会福祉に貢献することができることを学びました。今回あまり対面での活動を行うことが出来ませんでした。ミュージックサロンなどの活動にも興味があるので機会があれば参加させて頂きたいです！沢山の学びをありがとうございました。（花山桜子さん）



2022年夏に音の風でインターンシップとして参加いたしました。私は音の風で主にイベントの広報や準備をしました。音の風では多くのことを学ぶことができ、自分の成長につながる貴重な経験をさせて頂きました。短い期間でしたがありがとうございました。（寺脇拓朗さん）

会員交流会「みゆーふえす 2022」

音の風では以前から、「みゆーふえす」と名付けられた会員交流会が行われていましたが、2017年6月開催を最後に、5年余りが経過していました。コロナ禍によって従来の音楽ボランティア活動もできなくなり、会員同士の交流ももともと出来ない日々が続いていましたが、2022年には「そろそろ次の段階へ進みましょう」という前向きな声も聞かれるようになり、みゆーふえすを開催することにいたしました。何年振りかの再会を喜び合ったり、仲間と練習した歌や演奏を沢山の観客の前で披露したり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

●会員交流会「みゆーふえす 2022」

日 時：2022年12月17日（土）13時～17時

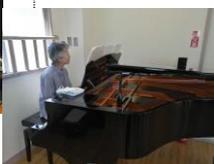
場 所：京都・時代祭館十二十二（トニトニ）

参加者：音の風正会員・賛助会員・家族・関係者ほか 計59名

チーム名：オカリナユニットまいけらず、アッキーとゆかいな仲間、ひこばえ、ホシノカケラ、めいチーム、シャイニングスターズ（ゴスペルコーラス）、子どもコーラスComodo、岡崎リトルポップスターズ、（ポップスコーラス）、キャナリアンヴォイセズ（ポップスコーラスアドバンス）



2022 年度のあゆみ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
できごと			 <p>・6/19 総会</p>		
音楽ボランティア アーティスト 派遣事業	 <p>4/8 稚松学区 くつろぎひろば</p>			 <p>7/9、3 栗田学区 すこやかサロン</p>	 <p>8/13 中京区 朱雀第三学区</p>
ミュージック サロン事業	 <p>5/5 法然院悲願会</p>	 <p>5/28,29 くまのまつり</p>	 <p>6/29 ピアノサロン 小さな発表会</p>		
新規事業 (MusicMix)	 <p>4/28 貞教社会福祉協議会</p>		 <p>6/18 一橋社会福祉協議会</p>		
岡崎いきいき 市民活動センター 事業	 <p>第4期がスタートし100円だった貸館料金が600円になりました</p>	 <p>5月岡崎幼稚園のどんぼ組の子どもたちとひまわりを植えました</p>	 <p>レコードを聴く会は4月から3月まで毎月第4土曜日、午後2時より開催</p>	 <p>7月スタッフによるワードと、手書きチラシの講座を開催</p>	 <p>7/30 ワールドミュージックを聴く会では、民族音楽に詳しい馬場理事から説明がありました</p>

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		 <p>11/17 京都市生涯学習 推進者表彰</p>	 <p>12/17 会員交流会「みゆーふえす」 @京都・時代祭館十二十二</p>			
 <p>10/21 下京区 修徳すこやか学級</p>	 <p>10/25 中京区 銅駝学区自治会</p>		 <p>1/9 銅駝学区自治会 @ザ・リッツカールトン ホテル京都</p>		 <p>2/11、25 粟田学区 すこやか学級</p>	
 <p>9/10 ミュージックサロン コンサート</p>	 <p>10/2、10 ロームスクエア ライブ</p>	 <p>11/1 ミュージック サロンコンサート 動画公開</p>		 <p>1/28 岡崎わいわい文化祭</p>		
			 <p>12/12 いまくまの オンライン体験会</p>		 <p>3/30 東山老人福祉センター オンライン体験会</p>	
 <p>10月にはイベントが沢山ありました。 10/1 BrightEyes Syper-duperのライブとインタビュー</p>	 <p>10/1と10/10 ロームスクエアで Okazaki Park Stage ホシノカケラ with 山下理事</p>	 <p>10/16 ワールドミュージックフェスタスタンプラリー</p>	 <p>11/3 撮影講座ギャラリーで撮影</p>	 <p>1/28 3年ぶりに岡崎わいわい文化祭を開催しました</p>	 <p>2/25 どんぐり広場でkyopellaのコンサート</p>	 <p>3/25 第4土曜日はレコードを聴く会</p>

2023 年度 事業計画案

音楽ボランティア派遣事業

●事業の目的と内容

音楽による余暇活動の支援を目的に音楽ボランティアを派遣する。通常 1 施設につき 1 名～5 名程度がグループを組み、進行者、伴奏者、楽器配布や歌詞の準備をするなど役割分担をして、約 45～60 分のプログラムを進める。季節の歌や懐かしい歌の歌唱、歌やリズムを使った体操、楽器の合奏など、主に参加型のプログラムを提供する。

●事業計画

アフターコロナを迎えて活動需要が増えると予想され、ボランティア人材の確保が必要となる。人材の配置、スケジュール調整等スムーズに行えるよう体制を整える。

アーティスト派遣事業

●事業の目的と内容

コンサート、音楽療法、音楽レクリエーション、音楽レッスン、ワークショップ講師、講演会など、専門的なスキルを必要とする依頼に対して派遣を行う。

●事業計画

音楽ボランティア派遣事業と同様に、アフターコロナを迎えて活動需要が増えると予想される。過去の経験を元に、企画、予算管理、スケジュール調整等、スマート且つスムーズに行えるよう体制を整える。

ミュージックサロン事業

●事業の目的および本年度方針

音楽の練習を通して参加者の生きがいや居場所をつくりだすとともに、日ごろの練習の成果を地域に還元できるよう、社会貢献を目指した音楽活動を行う人材の育成に取り組む。令和 5 年度は更なる増員、増収増益を目指していく。

ポップスコラス（岡崎リトルポップスターズ）

●事業の目的と内容

皆でハーモニーを奏でながら歌うことの喜びを味わってもらうと共に、音楽活動を通しての世代間交流を図る。

2023 年度で結成 10 年を迎え、地域に根ざしたコーラスグループとして、音楽活動を通じて社会貢献する人材育成を図る。

●事業計画

退会・休会者への勧誘、広報強化するとともに、新規会員募集に向けて WEB、SNS での発信等、広報活動を継続する。年度内 15 名体制を目標とする。

ゴスペルコーラス（シャイニングスターズ）

●事業の目的と内容

ゴスペル音楽を通してメンバー間の交流を促し、音楽の楽しみや喜びを味わうとともに生きがいづくりに貢献する。2023 年 10 月で結成 9 年を迎え、結束力が強く現状の良い雰囲気を持しながら活動し社会貢献につなげる。

●事業計画

ゴスペルの認知度を活かし、チームの利点をアピールできる広報活動を考慮する。会員募集に向けて WEB、SNS での発信等、広報活動を継続する。年度内 20 名体制を目標とする。

中高年のための歌声教室

●事業の目的と内容

地域の中高年を対象に、参加者によるリクエストを中心に、唱歌や歌謡曲・童謡などの斉唱を楽しんでもらう。また、歌唱を通じた健康づくり、参加者同士の交流に貢献できるようなプログラムを実施する。

●事業計画

第 3 水曜日の開催日数を調整し、費用対効果を上げる。MusicMix との併せて「高齢者の介護予防プログラム」として広めていく。

ピアノサロン

●事業の目的と内容

中高年の方々を対象としたオープン型のピアノレッスンで、QOLの向上と参加者同士のコミュニケーションを図る。

●事業計画

生徒募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。10人以上の体制に向けての運営対応を整える。

ポップスコラスアドバンス（キャナリアンヴォイセズ）

●事業の目的と内容

より高度なコーラスを追求し、ジャンルを問わずコーラスを楽しめる時間を提供する。受講者に地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献を目指した音楽活動をおこなう人材の育成を図る。

●事業計画

会員募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内増員2名を目標とする。

子どもコーラス Comodo

●事業の目的と内容

小中学生を対象に、「音楽技術習得の場」としてではなく、「音楽で子ども達への成長の助けや自立を促す事」をコンセプトとして、地域と触れ合う機会と、社会貢献を目指した音楽活動経験を提供する。

●事業計画

生徒募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内13名体制を目標とする。

ミュージックサロンイベント事業

●事業計画

- ・ミュージックサロン・コンサート（2023年9月9日ロームシアター京都ノースホール）
- ・会員増員につながるイベント等の開催

岡崎いきいき市民活動センター

2023年5月からは新型コロナウイルス感染症が5類になり、少しずつ以前のように集まったり、歌ったり話をしたりすることができるようになると思われる。いきセンでも、さらに会議室の利用促進に向けて、利用が少ない夜の時間帯に、仕事帰りに絵など制作に使っていただけるよう、大型の荷物を預かるプランを検討している。また事業の立ち上げをサポートし、活動サークルを増やしたいと考えている。

手探りではじめた初年度事業だが、修正をしながら、それぞれ関わる市民や団体が、独自に事業を起こし動いていく方向で進めている。今年はフレームドラムを使った、非言語的コミュニケーション、ドラムサークルの活動を立ち上げたいと考えている。

- ①市民活動自立自走事業 「相談・育成」「スキルアップ支援」「まちあるき手作りマップ」
- ②文化芸術交流連携事業 「社会的包摂とアート 音楽療法」「社会的包摂とアート カメラ」「レコードを聴く会」
- ③多世代交流事業 「ワールドミュージックフェスタ」
- ④地域連携事業 「わいわい文化祭」

音の風設立20周年記念事業

●事業の目的と内容

設立20周年を機に、音の風の認知度を向上させ、会員及び関係団体との輪を広げるとともに、今後の活動ビジョンを発信するため、記念事業を開催する。

●事業計画

冬期（12月頃予定）に、会員及び関係団体を対象とした音の風20周年記念パーティーを開催する。

スマイルミュージックフェスティバル事業

スマイルミュージックフェスティバル事業については、昨年度末に実施した各出演団体へのアンケート調査結果等を踏まえ、令和5年度事業としては実施しない。引き続き、各団体の意見をお聞きする中で、これまで実施してきたスマイルの理念を引き継ぐ新たな事業展開を模索する。

ミュージックミックスMusicMix

●事業の目的と内容

音楽、楽器演奏、体操を組み合わせた高齢者介護予防音楽プログラムとして2021年度からスタートした。高齢者の介護予防は、今後も重要な役割と考えられ、継続して取り組んでいく。

●事業計画

- ・一般参加の定期活動（岡崎いきいき市民活動センター）を行う。歌声教室との共通回数券として利用者の拡大を図る。
- ・東山社会福祉協議会等の依頼に応じて派遣活動を行う。
- ・運営資金として助成金等を活用する。

事務局

- 事務内容の見直しや作業の効率化を図り、ICT化をより一層進める。
- 既存事業・業務の標準化し、新規事業への対応準備を図る。
- 新規会員入会の広報・勧誘活動を強化する。
- 時流にあわせてホームページ、SNSを活用する。

2023年度役員・人員体制

●2023年度役員

代表理事：西野桂子

副代表理事：山下聡

理事：國領亜由美、滋野浩毅、木下裕史、馬場雄司

監事：庄林幸士

●事務局体制

スタッフ：西野桂子、前滝康彦、森亜紀、吉田匠

サポートスタッフ：大垣広晃、加藤かず江、平井寛爾、山下聡、國領亜由美

●岡崎いきいき市民活動センター

センター長：西野桂子、（代行）木下裕史

常勤職員：齋藤真人

非常勤職員：曾和泉、岡田美智子、高見美智子、龍怜子、吉田匠、吉田遥、ヘイナ啓子

会員交流

●目的と内容

会員間の親睦を目的として開催する。

●実施計画

会員の主体的な提案に基づき交流会を開催する。

賛助会員・寄付者について（敬称略・順不同）

【2022 年度賛助会員】

個人賛助会員：森本好子 大平ひろみ 大重博光 足滝彩 中東清美 上野さよ子 矢島熙 奥村邦子
今井真美

【2022 年度寄付者】

山口彰一郎 滋野浩毅 國領亜由美 前滝康彦

当会の活動にご賛同・ご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。これからも素敵な音楽活動をお届けするために、取り組んでまいりたいと思います。

関係先

●スマイルミュージックフェスティバル実行委員会

特定非営利活動法人音の風、社会福祉法人京都市東山区社会福祉協議会、京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」、京都市東山青少年活動センター

●連携先

東山区社会福祉協議会、京都市福祉ボランティアセンター、京都市市民活動総合センター、下京区社会福祉協議会、京都市岡崎いきいき市民活動センター、左京区社会福祉協議会、東山区地域啓発推進協議会、東山区役所健康長寿推進課 他

●岡崎いきいき市民活動センター 連携先

京都市文化市民局地域自治推進室、京都市岡崎魅力づくり推進協議会、岡崎自治連合会、左京区地域力推進室、錦林小学校、岡崎中学校、錦林児童館、京都文教中学高等学校、岡崎幼稚園、左京区社会福祉協議会、ロームシアター京都、京都市動物園、府立図書館、京都市国際交流会館、つどいの広場どんぐり広場

●NPO 法人ドットジェイピー（学生インターンシップ）



LPW（NPO 法人若者と家族のライフプランを考える会）での活動風景です。大槻みゆきさんに、毎月4～5回の定期活動と年数回のイベント出演などをご担当いただいています。写真右はトーンチャイムという楽器です。

笑顔つながる

音でつながる



NPO法人 音の風